



財団法人柳田國男・松岡家
顕彰会記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原 1038
の12
電話：0790-22-1000

岩田健三郎版画教室 が開催されます



姫路市を拠点に活躍されている版画家、岩田健三郎氏の指導で、年賀状の版画教室を開きます。来年の干支「丑」を彫りますが、丁寧に教えていただけますので、絵の苦手な方でも大丈夫です。

日時 12月6日(土)
13時30分

場所 記念館2階講義室

費用 材料代一枚百円

*会員以外の方は、別途入館料が必要です。

持参品 筆記用具、彫刻刀をお持ちの方はご持参下さい。

彫刻刀をお持ちでない方はお申し出下さい。

申込み 22 1000

講師紹介
昭和22年、姫路市生まれ。版画家。テレビやラジオのパーソナリティ、シンガーソングライターでもある。ご夫婦で水上村・川のほとりの美術館を開館。版画集「あぜ径」など。今年、韓国ソウル市で「あぜ径にすわって」と題した個展を開催。



版画は海を越えて
日本の木版
画の代表的な
ものに浮世絵
が挙げられま
す。明治時代、浮世絵は海外への荷物の梱包材として使われ、それを見た欧米の、特に印象派の画家たちによって高く評価されました。その画家の一人にゴッホがいます。彼の作品『タンギー爺さん』の背景には多くの浮世絵が描かれています。そのゴッホの絵『ひまわり』に感銘を受けて画家を志したのが棟方志功です。彼は版画を「板画」と呼び、木版の特徴を生かした、どこか懐かしいような版画を、次々に生み出していったのです。



くによはん覚書

年越しそばについて
年越しそばの由来は、「細く長く
達者で暮らせるように」とか、「金細工職人が金粉をそば団子で集めたことから、金運に恵まれるように」とか、いわれています。
しかし、一般的にそばを食べるのは12月31日の夜で、厳密に言えば、まだ「年越し」の時間ではありません。では、なぜ「年越しそば」というのでしょうか。
柳田國男著『先祖の話』(筑摩書房)によると、「われわれ日本人の一日夜は、もとは夜昼という順序」になっていて、「今でいう前日の日没時」を境としていたそうです。つまり、かつての感覚でいえば、正月の前日の夕食時が、まさに年越しの時間だったのです。



伊勢大神楽に感動

去る11月15日、伊勢大神楽が催されました。当日は天候にも恵まれ、たくさんの観客を前に、あ
でやかな獅子舞と楽しい曲芸が披露されました。子どもから大人までみんな揃って日本の伝統芸能を満喫しました。

会員募集中!
会員の方は更新をお願いします。

ご利用案内
【開館時間】
午前9時～午後4時30分
【休館日】
月曜日・祝日の翌日、12月28日、1月4日
【入館料】
大人200円(団体割引は学生150円 20名以上) 小人100円

財団法人柳田國男・松岡家顕彰会記念館

柳田國男と「笑い」展 終了

「笑い」がテーマの特
別展がこの程終了しまし
た。たくさんのご来場あ
りがとうございました。

講演会第1弾講師の大森泰氏いわく、「笑うと良いことづくめ」なのだそう
です。どうかこれからも、
沢山笑ってください。
笑い話クイズ (答は左)
(大森氏講演会より)
往年の野球の大選手達
が向こうから歩いてきま
した。道にはお金落ちて
います。彼らは誰で、ど
ういう行動をとったでし
ょう。